

平成30年4月10日

平成30年度フィールドスタディ型政策協働プログラム 参加者の募集について

理事・副学長  
石井 洋二郎

社会が大きな転換期にある今、多様な関係者と協働しながら、政策を立案・実行できる人材の育成は、日本社会の喫緊の課題です。本プログラムを通じ、東京大学は、社会的課題に果敢にチャレンジするリーダー人材を育成します。

については、実施及び参加申請の手続きを下記の要領により行いますので、積極的な応募をお願いします。

## 1 プログラム概要

フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）は、学生の皆さんが、（1）県ならびに、特定の市、町、村などに出かけ、一定期間滞在し、現地の人たちの声を聞き、具体的なニーズを発掘する、（2）本学の多様な研究者や専門家に相談したり、図書館などの学内所蔵の資料、データを渉猟したり、さらには仲間と討議熟考する、（3）その上で課題解決の道筋を自治体及び地域の皆さんに提案する、という三つのプロセスによって構成されます。

皆さんには、現地と学内を奔走していただくこととなります。「奔走」という言葉には、幕末の志士を思わせる響きがあります。志士たちは骨身を惜しまず動き回ること、思考を活性化し、社会を変革してきました。奔走する学生は、地域の現場力と大学の専門知をつなぐ架け橋となります。

本プログラム経験後には「協働する力」「課題に挑む力」「架け橋となる力」など、多様な力を身につけることができます。さらに、現地の人たちや学内の多様な研究者や専門家との出会いが、生涯忘れ得ぬかけがえのない思い出になると共に、皆さんを大きく成長させるはずです。卒業後、世界、国、企業、地域などで政策を立案・実行する仕事に就くことを希望したり、関心を持っている学生は、ぜひ参加してください。

## 2 応募資格

以下の要件をすべて満たす者とする。

- （1） 東京大学の学部学生・大学院学生（休学等、長期に就学を中断している者は除く。）
- （2） 地域の課題解決に向けて、地域と大学を奔走できる人材であること
- （3） プログラムの全期間を通じて参加できること

### 3 募集概要

#### (1) 活動場所

青森、山形、石川、福井、山梨、長野、三重、滋賀、奈良、鳥取、島根、高知、宮崎、鹿児島  
の各県（予定）

※いずれか1つの地域の担当となります。

#### (2) 募集人員

各県最大5名程度

#### (3) 活動期間

平成30年5月下旬（結果通知後）～平成31年3月22日

※学期期間中については、学業に支障のない範囲での活動となります。年間スケジュールは「8年間スケジュール（予定）」を参照してください。

#### (4) 活動支援

現地活動にかかる経費の一部支援として、活動支援金（4回まで）を支給します。

※往復旅費、宿泊費、活動費について、規定に基づき定額を支給します。

また、参加決定の後、大学負担で賠償責任保険加入手続きを行います。

### 4 応募締切

平成30年5月8日（火）【必着】

UTAS上の「アンケート」から応募。

※応募希望者は「5 オリエンテーション」に必ず参加してください。

### 5 オリエンテーション

応募希望者は下記の日程のいずれかに必ず参加してください。やむを得ず参加できない場合は、事前に「10 問い合わせ先・完了メールの送付先」まで連絡してください。

<本郷キャンパス>

日時：平成30年4月18日（水）18時45分～20時（予定）

場所：理学部1号館小柴ホール

[https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_25\\_j.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html)

<駒場キャンパス>

日時：平成30年4月19日（木）18時45分～20時（予定）

場所：KOMCEE East K011

[https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02\\_01\\_55\\_j.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html)

※いずれの日程も、18:00～18:30、および、オリエンテーション終了後～20:30まで、各県の方と個別に相談ができる時間を設けます。こちらにもぜひご参加ください。

## 6 申請方法

- (1) UTAS にログインし、「アンケート」内の「平成 30 年度フィールドスタディ型政策協働プログラム応募」から申請してください。

UTAS : <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

- (2) 申請完了した旨を本部学生支援課宛にメールで連絡してください。
- (3) 本部学生支援課から受領メールが届きましたら、申請完了となります。(約 1 週間以内)

### <主な申請内容>

- ・活動希望地域 【3 地域 ※必須】

- ・3 地域についてのレポート

※興味を持った 3 地域を選び、そこでどのような貢献をしたいと考えているかについてそれぞれ書いてください。(各地域 400 字)

## 7 選考について

- (1) 「6 申請方法」で提出された内容に基づき選考を行います。
- (2) 書類に不備のある場合の連絡や、合否結果等の重要な連絡はメールで行うため、定期的にメールを確認してください。
- (3) 活動場所については希望を優先しますが、希望以外の地域になる場合があります。

## 8 年間スケジュール (予定)

平成 30 年	4 月 18 日 (水) または 19 日 (木)	オリエンテーション
	5 月 8 日 (火)	応募締切
	5 月中旬	書類選考
	5 月下旬	結果通知
	5 月下旬～6 月	ワークショップ (4 回程度) ・参加手続、参加心得 ・自治体等担当者との打合せ ・前年度修了生アドバイス ・事業計画立案
	8 月～9 月	現地活動
	10 月	ワークショップ ・現地活動振り返り
平成 31 年	2 月	ワークショップ

		・ 報告会前準備
	3月	活動報告会（学内・地域） 最終報告書等提出

※8月～9月の現地活動の他に、担当県と調整の上、その前後に短い期間での現地活動が実施される場合があります。

※6月～7月は事前調査、10月～12月は事後調査を学内等で行います。12月以降は、担当県と協議の上、課題解決の道筋提案に着手します。

※ワークショップは、原則、18時45分から20時15分に本郷キャンパスにて実施します。できる限り参加してください。詳細は参加者に追って通知します。

## 9 参加後の報告等

- (1) 平成31年2月～3月に開催予定の報告会（活動地域と本学にて2回実施予定）における活動報告
- (2) 最終報告書（所定様式）等の提出
- (3) 活動終了後、次年度のオリエンテーションへの参加のほか、プログラムに関する業務への協力（次年度参加学生へのアドバイス等）を依頼する場合があります。

## 10 問い合わせ先・完了メールの送付先

東京大学本部学生支援課

電話：03-5841-2541/2542

Email：[fs-office.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:fs-office.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記してください。